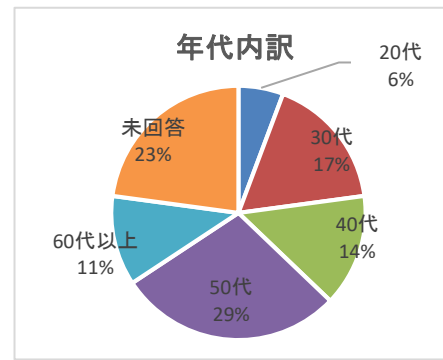


## 専門質問(訪問看護)の結果

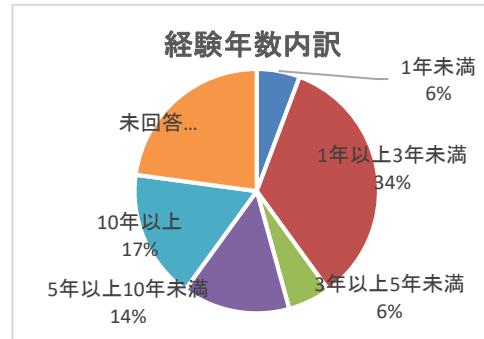
### <回答者の概況>

職種	内訳
看護師(准看護師)・保健師	27
理学療法士	4
作業療法士	3
言語聴覚士	0
未回答	1
計	35

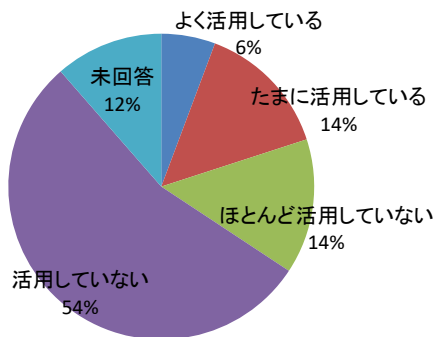
年代	内訳
20代	2
30代	6
40代	5
50代	10
60代以上	4
未回答	8



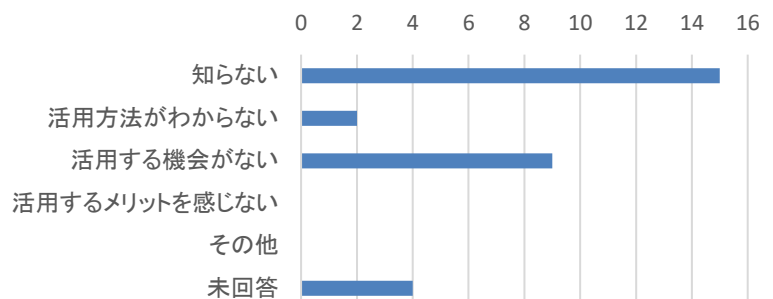
経験年数	内訳
1年未満	2
1年以上3年未満	12
3年以上5年未満	2
5年以上10年未満	5
10年以上	6
未回答	8
平均	5.5年



### 【質問1】サポートセンターの活用について



### 【質問1-2】活用していない理由



### 【日常の療養支援について】

【質問2】日頃訪問看護サービスを提供する上での困りごとや課題、解決策がありましたら具体的にご記入ください。

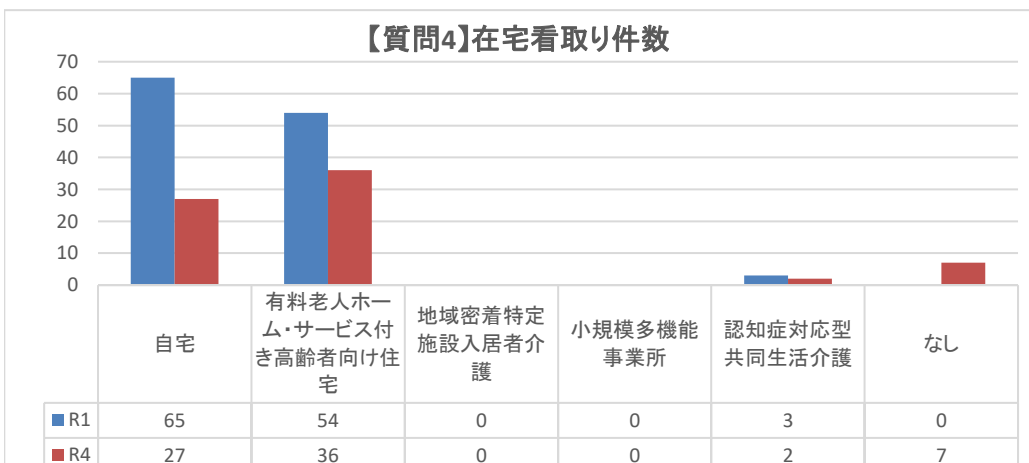
回答なし

【質問3】訪問看護利用者を増やすために必要と考える事項があればご記入ください。

回答なし

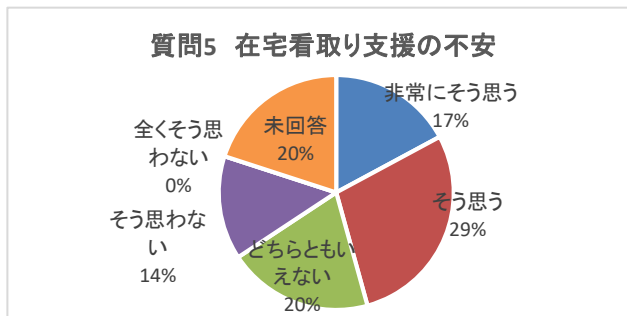
### 【在宅看取りについて】

#### 【質問4】在宅看取り件数

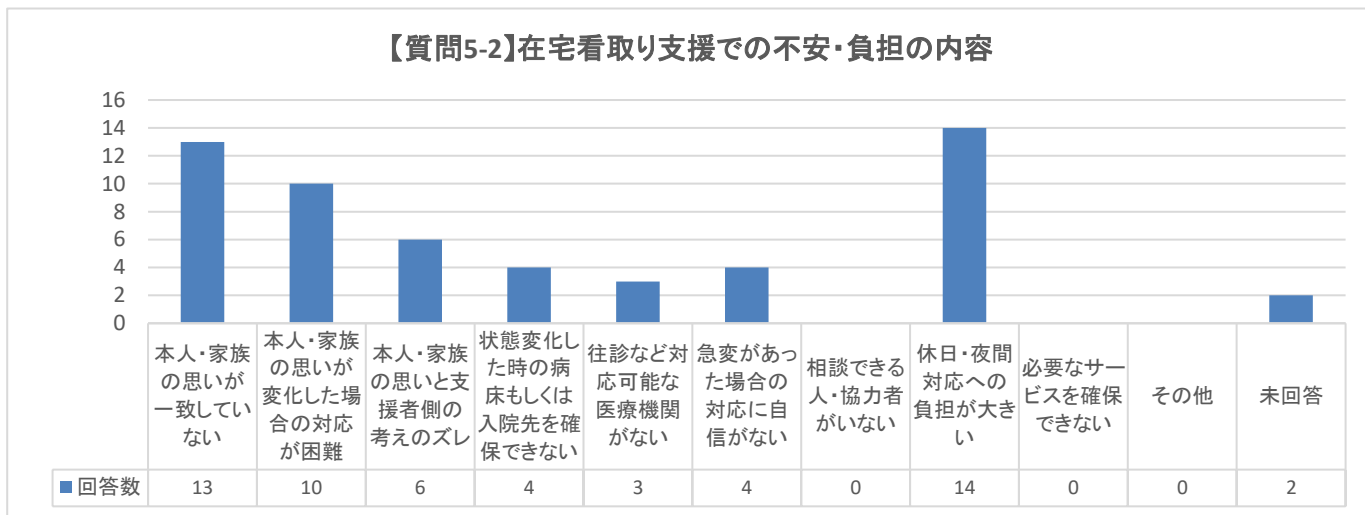


【質問5】在宅での看取りを支援することに、不安や負担を感じますか

非常にそう思う	6
そう思う	10
どちらともいえない	7
そう思わない	5
全くそう思わない	0
未回答	7



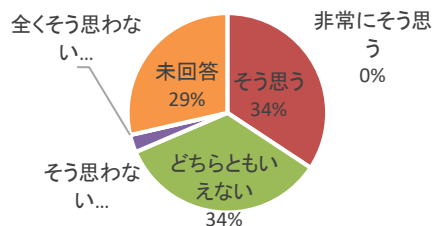
【質問5-2】在宅看取り支援での不安・負担の内容



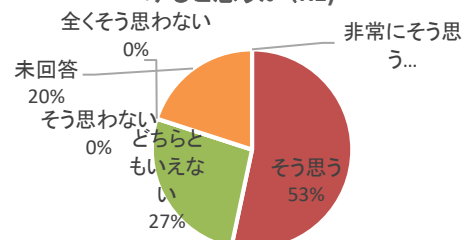
【質問6】今後在宅で看取るケースを増やしていけると思いますか

非常にそう思う	0
そう思う	12
どちらともいえない	12
そう思わない	1
全くそう思わない	0
未回答	10

【質問6】在宅で看取るケースを増やしていけると思うか(R4)



在宅で看取るケースを増やしていけると思うか(R1)



【質問6-2】5で「そう思わない」「全くそう思わない」と答えた方にお尋ねします。

そう思う理由は何ですか。

【 精神の訪問なので、体調が悪くなれば病院へ入院させるので増えることはないと思います。 】

<分析>

在宅看取りに対する不安について、「休日、夜間対応への負担が大きい」が一番多く、対応できる事業所やスタッフの増加が必要ではないかと考える。

次いで「本人・家族の思いが一致していない」「本人・家族の思いが変化した場合の対応が困難」が多く、在宅看取りについてのイメージがついていない事も考えられる。住民に対しても在宅看取りについての啓発が必要と考える。